

# 外国人観光客の誘致は



近藤 大介 議員

町長

## ターゲットの見極めも重要である

【近藤】日本遺産の制度は、外国人観光客の誘致を視野に入れた国の施策である。  
 大山の日本遺産登録をめざす本町として、外国人観光客の誘致にどう取り組むか。

【町長】インバウンド（外国人観光客誘致）対策は重要。外国人観光客の旅行動機は、文化、歴史、体験が多く、本町でのツアーメニューの開発が必要である。  
 どの外国人をターゲットにするかの見極めも必要で、それに合わせた環境整備が求められる。

【近藤】東京オリンピックまでには、外国人観光客にも十分対応できる宿泊施設が町内に数軒必要だ。

【町長】大山寺でのいろいろな話し合いを進めるなかで、そうした展開も生まれることを期待する。

## グルメ食道に健康志向を

町長

### 可能性を探りたい



12店舗が参加する大山グルメ食道

【近藤】本町と姉妹都市の呉市では、飲食店と連携し、塩分が少なく低カロリーのメニューを増やす取り組みを行っている。  
 本町のグルメ食道の事業に、呉市の方法を取り入れ、健康志向の食の普及をはかっているか。

【町長】本町産の食材を使い、おいしさも健康づくりもPRすること、新たな観光資源になると思う。  
 商工会や生産者団体、食生活改善推進員連絡協議会に呉市の取り組みを紹介し、可能性を探っていきたい。

# 大山チャンネルの充実は

町長

## 番組を増やすことは考えていない



多彩な企画の「だいせん100%TV」

【近藤】今年度から、大山チャンネルの番組制作を民間のアマゾンラテルナ社に委託している。  
 経験豊富な同社のノウハウを生かし、自主製作番組を増やし、チャンネルの充実をはかっているか。

また、映像のネット配信の考えは。

【町長】民間企業への委託によって、番組レベルは向上したが、番組を増やすことは考えていない。  
 ネット配信は、魅力的なPR手段だが、さまざまな課題もあり、今後研究したい。